

TRIO - Kohashi/Overwater/Kaptein

JAPAN TOUR 2024

from Amsterdam

小橋 敦子 (piano) トニー・オーバーウォーター (bass) セバスティアン・カプティン (drums)
Atzko Kohashi Tony Overwater Sebastiaan Kaptein

コルトレーンの作品をとり上げたアルバム「クレセント」がヨーロッパの批評家から賞賛され、オランダのエジソン・アワード及びドイツの批評家大賞にノミネートされた注目のデュオAtzko Kohashi - Tony Overwaterが、日本で活躍中のオランダ人ドラマーSebastiaan Kapteinと組んだトリオによる日本ツアーが6月20日よりスタートします。

—音楽は旅をする—

オランダ、アムステルダムを拠点に活動するピアニスト小橋敦子 Atzko Kohashi、オランダ人ベーシストのトニー・オーバーウォーター Tony Overwater、そして沖縄在住のオランダ人ドラマーセバスティアン・カプティン Sebastiaan Kaptein によるアコースティック・トリオ。コスモポリタン都市アムステルダムで出会った三人が互いに触発されながら奏でる独特のサウンド、そしてユニークなレパートリーの数々。国境を越え自由に世界を旅する旋律が聴こえてきます。

旅をしながら行く先々で目にする不思議な光景、聞きなれない言葉、初めて出会う人々。ジャズ演奏は旅の面白さどこか似ている。その時、その場所でしか聴くことのできない「ライブ」の醍醐味を味わってください。



《バイオグラフィー》

小橋敦子 Atzko Kohashi, pianist

神奈川県茅ヶ崎市出身。慶応義塾大学卒。1994年から2001年までニューヨーク滞在、スティーブ・キューンに師事。2005年からオランダ、アムステルダム在住。「アムステル・モーメンツ」をはじめ、ベーシスト、ドラマー、チェリスト、ボーカル、トランペッター、パーカッショニストとのデュオやトリオ作品を次々にオランダから発信。緩やかな音楽性と音質へのこだわりで定評がある。日本、アメリカ、ヨーロッパ、3つの異なる文化を経験し、多文化的な音楽観を持つピアニストと称され、その独特なスタイルは「あたたかく、自然で、人間的な温もりがある」「深い静かな流れ」「過不足のない音の選択は禅に共通する」と評される。2013年にデュオで、2016年にはトリオで来日公演し好評を博す。近年はトニー・オーバーウォーターとのデュオで活動、2022年にデュオアルバム「クレセント」がオランダのエディソン・アワード及びドイツの批評家大賞にノミネートされる。2023年にエジプトのカイロ・ジャズフェスティバルに参加するなど、欧州で活躍する日本人ジャズ・ピアニストとして注目されている。 www.atzkokohashi.com

トニー・オーバーウォーター Tony Overwater, bassist

オランダ、ロッテルダム生まれ。ハーグの王立音楽院 Royal Conservatoire The Hague を卒業。ジャズというジャンルにとらわれることなく、バロック、クラシックの音楽家たちとのコラボレーションなど、様々な分野で活動。バロック音楽をジャズに取り込んだレンブラント・フレリークトリオやイランのカイハン・カルホールとのコラボレーションなど幅広い音楽性が注目される。特にアラブ音楽への造詣が深く、四分音 quarter-tone を自らの音楽に取り入れるなど、多様な音楽表現を試みている。また、ノースシー・ジャズをはじめ数多くのフェスティバルに参加、近年はロンドンのロイヤル・フェスティバルホールやドイツのケルン・フィルハーモニーで演奏するなど活躍している。子供のための音楽劇での公演、映画音楽、ダンス音楽の作曲など、多才な音楽活動はヨーロッパ内外で評価されている。1989年にポディウム賞、2001年にアルバム「OP」でエディソン・アワード、2002年にボーイ・エドガー賞を受賞。2022年、小橋敦子とのデュオアルバム「クレセント」が、オランダのエディソンアワード及びドイツの批評家大賞にノミネートされる。現在ハーグ王立音楽院にて後進の指導にも力を注いでいる。 www.tonyoverwater.com

セバスティアン・カプテイン Sebastiaan Kaptein, drummer

オランダ、南ホラント州ウフストヘースト生まれ。現在、沖縄在住。幼少の頃にチェロを、13歳よりドラム（アフリカンドラム、パーカッション）を習う。フローニンゲン音楽学校を卒業後、奨学金を得てニューヨーク留学、ドラマーズ・コレクティブのマスター・クラスに参加。オランダ国内はもとより、ヨーロッパ、アジア、アフリカ、中東、南アメリカでのツアー、コンサートなどで活躍中。既成のジャズの枠にとらわれず、ジャンベなどアフリカの打楽器に興味を持つなど、バリアフリーなその音楽性に注目されている。これまでにレコーディングやツアーで世界40カ国以上を訪問。主な共演者はトゥーツ・シールマンス、ジェシ・ヴァン・ルーラー、ミケル・ボルスラップ、マイク・デル・フェロー、ティネカ・ポスマ、フランシエン・ヴァン・タウンエンをはじめ、国内では林正樹、石井彰、藤原清登、井上陽介、TOKU、片倉真由子らなど多数。